

こんな時どうする？Q&A

履修計画

Q 高校と大学では、授業はどのように違うのですか？

A •自分で授業を選び、自分の時間割を自分で作り上げることが特徴的な違いでしょう。
•授業内容が高度で専門的になることはもちろんですが、卒業するためには必要な単位数を修得しなければならないこと、授業から成績評価までを春と秋それぞれの独立した学期で行うセメスター制で実施していることなど、制度的にも大きく違います。

Q 卒業するにはどうすればよいですか？

A •各学科で定める「卒業要件」をすべて充足させる必要があります。自分の所属する学科の卒業要件を常に確認しておきましょう。

Q 「単位」を取るにはどうすればよいですか？

A •まず、「履修登録」という手続きが必要です。履修登録は4年間で8回（各セメスターが始まる前に）行います。履修登録を行わないと、そのセメスターはすべての科目の履修ができず、単位の認定もされません。必ず指定された期間内に所定の手続きをしてください。
•授業を受け、レポート・試験に合格すると単位が認定されます。授業に全部出席していたとしても、「学ぶべき内容が身についていない」と成績評価は不可（F評価）となり、単位は修得できません。

Q 授業はどのように選択すればよいですか？

A •各学科の教育課程表に「必修」と記載されている科目は、指定された時期までに必ず履修し、単位を修得しなければなりません。「必修」以外の科目でも、いろいろな条件があるので、卒業まで見据えてしっかりと履修計画を立てましょう。
•Webで公開されている「講義要覧」や「シラバス」で、具体的に授業内容を検討する必要もあります。
•また、履修登録期間前にガイダンス等で具体的な注意事項や履修のアドバイスがあります。

履修登録

Q 自分が履修登録した授業時間割を確認するには、どうすればよいですか？

A •UNITAMAの「学生時間割表」で確認できます。

Q 履修している授業で、Blackboard@Tamagawaのコースに表示されていない授業があるのですが、履修登録されていないのでしょうか？

A •Blackboard@Tamagawa（以下Bbとする）コースへの登録は、履修登録の最終確定後になりますので、授業開始後にはまだ登録されていない場合があります。また、Bbを利用しない授業に関しては、Bbにコースの表示がされません。自身の履修登録を確認するには、UNITAMAもしくは授業運営課での確認が必要です。

科目の履修

- Q どうしても履修したい選択科目と必修科目が重なってしまったのですが、どうすればよいですか？**
- A** • 必修科目を優先して履修してください。選択科目は複数年度にわたって開講している場合が多いので、翌年度以降に履修してください。
- Q 他学年に開講されている科目を受講することはできますか？**
- A** • 自分の学年より下の学年に開講されている科目は受講することができますが、上の学年に開講されている科目は受講できません。
- Q 他学科で開講されている科目は受講可能ですか？**
- A** • 「履修ガイド」に掲載されている「教育課程表」の「他学科受講」欄に○印が付いている科目は受講可能です。
- Q 学期履修単位数の上限は何単位ですか？**
- A** • 16単位です。一部上限対象から除外される科目がありますので確認してください。
- Q 再履修とはなんですか？**
- A** • 単位の修得ができなかった授業科目を翌学期以降に再度履修することです。
- Q 再履修科目と必修科目が重なってしまいましたが、どうすればよいですか？**
- A** • 学科の教務担当教員もしくは授業運営課に相談してください。

成績の確認

- Q 自分の成績（GPA含む）を確認するには、どうすればよいですか？**
- A** • 成績はUNITAMAで随時確認できます。履修した科目の評価、修得した単位数、GPAなどについて、しっかりと確認してください。
• なお、電話で成績の問い合わせをすることはできません。
- Q 「F評価」以外の成績確認はできますか？**
- A** • 成績確認期間に科目担当教員（非常勤講師の場合は、所属学部の教務主任）に直接質問することはできます。
• なお、成績の問い合わせができるのは、学生本人のみです。

教員との連絡

- Q 科目担当教員（専任および非常勤）に連絡をするにはどうすればよいですか？**
- A** • Webで公開している「教員一覧」に記載されているメールアドレスに連絡することが可能です。
• 「教員一覧」に連絡先が記載されていない専任教員および非常勤教員の場合は、電話・Eメール等の連絡先を授業運営課等でお伝えすることはできません。
• 授業終了後、あらかじめ科目担当教員に直接、連絡がつく曜日、時限等を聞いておきましょう。